

令和6年8月23日

常総市立大生小学校 不祥事防止に向けた取組

常総市立大生小学校長

本校では、以下のような対策のもとサービス規律確保を図ります。

1 目的

年間を通して継続的に校内研修を行うことにより、不祥事への当事者意識を醸成し、学校全体で不祥事の根絶を図るものとする。

2 校内コンプライアンス委員会

校長、教頭、教務主任、生徒指導主事、保健主事、学校評議員により組織する。

3 コンプライアンス研修年間計画

4月	○今年度の校内コンプライアンス研修計画について ○教職員のサービス規に関する基本原則 ○コンプライアンス研修① ・学級づくりにおける体罰 ・不適切な指導の根絶
5月	○教職員の懲戒処分について ○コンプライアンス研修② ・公金等の不適切な処理の根絶
6月	○職場の現状チェック ・校長・教頭による面談実施 ○コンプライアンス研修③ ・個人情報の不適切な処理の根絶
7月	○学校評議員よりの意見聴取等 ○コンプライアンス研修④ ・教職員のメンタルヘルスについて
8月	○職員研修 ・人権教育について ・わいせつ行為等の根絶
9月	○職員研修 ・アンガーマネジメントについて
10月	○コンプライアンス研修⑤ ・わいせつ行為等の根絶
11月	○コンプライアンス研修⑥ ・ハラスメントの未然防止
12月	○職員研修 ・人権尊重の考え方，人権教育について
1月	○職場の現状チェック ・校長・教頭による面談実施
2月	○学校評議員よりの意見聴取等 ○コンプライアンス研修についての成果と課題
3月	○次年度の校内コンプライアンス研修計画の立案

4 主な施策

(1) 「One IBARAKI」の活用

毎月、県教育委員会から発行されている「One IBARAKI」を校内研修で活用する。

(2) 校内環境の整備

- 風通しのよい職場づくりを目指し、教職員の人間関係を構築することに努める。
- 不審な物が置かれなように、常に教室や更衣室、トイレ等の整理整頓に努める。

(3) 飲酒運転防止

飲酒運転を絶対させないために「飲酒運転防止の校内ルール」を作成し、全教職員に配付、校内各所に掲示する。

(4) 3ない運動+4：合い言葉「たいせつですね」の徹底

た (体罰、暴言)	体罰は指導にはなりません。 「フレミングの法則」生徒に中指を立てられ…講師が激怒し暴力「米国なら殺されるぞ」と暴言(新聞の見出し)子どもたちの言動に、カットせず、冷静な対応が必要です。
い (飲酒運転)	歓送迎懇親会・GW・年末年始 気が緩みやすい時期です。アルコールは、体に影響を及ぼす物質であることを認識してください。見つからなければ、隠し通せると思っても脳や体がそうできないことがあります。
せ (セクハラ、わいせつ)	相手意識・道義的問題 児童生徒に対しては言語道断です。しかし、大人同士の場合、冗談などと軽視してしまうことはありませんか。でも「そんなつもりではなかった」ではすみません。知らず知らずに誰かを傷つけているかもしれないことを認識しておきましょう。
つ (遣い込み)	後で補填しておけば… 「ほんのちょっとだから」「後で補填すればいいから」などの軽い感覚がのちに大きなことにつながります。お金は、少額であっても信頼関係を壊すものになります。
で (データの漏洩)	学校にはたくさんの個人情報 人間を預かっている職業であるからこそ個人情報を扱うことを避けて通るわけにはいきません。ちょっとしたヒューマンエラーがもとになることが多いです。
す (スピード違反)	ハンドルを握ると… 道路では法定速度を守って走っている方が少ないとみえることもあります。でも、ルールはルール、危険だからあるルールです。しっかり守りましょう。
ね (ネット犯罪、SNS)	有益な情報もありますが、匿名性が怖い ブログ、Twitter、Facebook などSNSは情報量や即時性の点から利便性は確かにあります。でも匿名性があることから、うっかり投稿してしまうケースがあります。一度、流れた情報はデジタルの世界では、回収は不可能であることを認識しましょう。